

世界のビジネスをリードするインドのエリート教育

4月と言えば日本では入学式など新生活の季節です。日本と同じく4月始まりの教育機関制度を採用しているのが、「成長国（グロース・マーケット）」のひとつであるインドです。

インドが英語や中国語などの語学教育に力を入れていることはヨミトクNo.42でもお伝えしました。またその一方では「ゼロ」の概念を発見するなど、インドは数学に強いという歴史的背景も持っています。このため国家として独立後は、科学技術によって国の振興を図るべく、超エリート育成のための教育システムを作り上げてきました。

その象徴とも言えるのがIIT（インド工科大学）です。IITの教育水準は、国際的にも非常に高い評価を受けており、入試倍率は毎年約60倍。「IITに落ちたらMIT（マサチューセッツ工科大学）に行く」と言われるほどの難関校で、論理的思考を徹底的に鍛える独自の教育方法により、ITエリートを数多く輩出しています。

彼らは卒業後、航空機の設計から物流システムの構築、ソフトウェア開発など、国内外のビジネスシーンで活躍しています。また卒業生の中には、世界最大の携帯電話会社、英ボーダフォンの元CEOやハーバード・ビジネス・スクールの学長もいます。このように、工学系の大学でありながら、IITは世界的な起業家や指導者など優れた人材を多数輩出しているのです。

若年層の多い人口大国として知られるインド。優れた人材が数多く育つことで、生産性や技術力が向上すると考えられ、さらなる経済発展が期待できます。

インドに広がるIITキャンパス（15カ所）



世界で活躍する主なIIT卒業生

氏名	役職名
アルン・ネトラバリ	米ベル研究所 元所長
グルーラジ・デシュパンデ	シカモアネットワークス 創設者
ビノッド・コスラ	サンマイクロシステムズ 設立時のCEO
ラジャット・グプタ	マッキンゼー 元取締役
ビクター・メネゼス	シティグループ 元副会長
アルン・サリン	ボーダフォン 元CEO
ラグラム・ラジャン	国際通貨基金 元チーフエコノミスト
ナラヤン・ムルティ	インフォシス・テクノロジーズ 設立時のCEO

（出所：GSAM調べ）

成長国について詳しくはこちらから www.gsam.co.jp